

スポーツで人々を巻き込もう

～スポーツと社会人の密着化～

大阪経済大学 田島ゼミ グループ②

山本 裕也 藤原 真由美 北野 達也 古金 航 横尾 俊輔

目次

- 1 諸言
- 2 提言
- 3 施策
- 4 まとめ

スポーツ基本法

- **スポーツは、世界共通の人類の文化である。**

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに**健康**で文化的な生活を営む上で**不可欠のもの**となっている。

出典：文部科学省

スポーツ基本計画

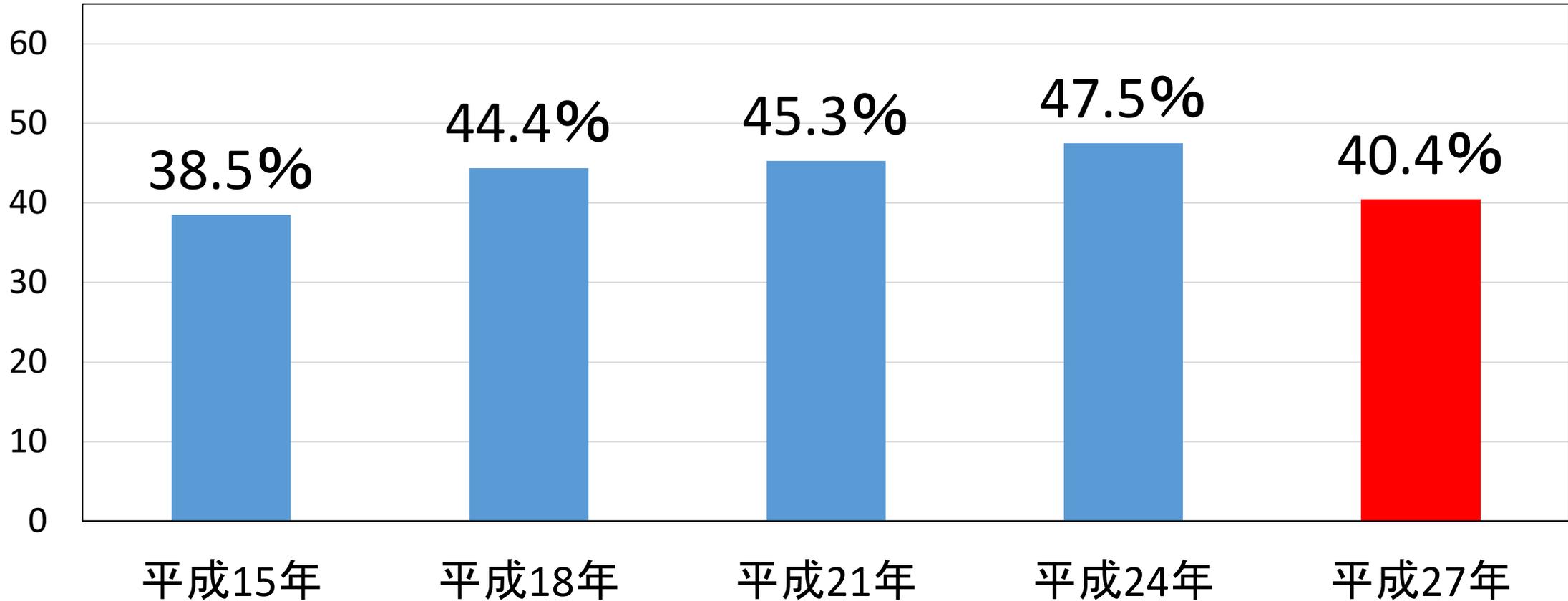
スポーツ実施率を3人に2人(65%程度)

となることを目指す

- ・総合型地域スポーツクラブを中心とした環境整備
- ・地域スポーツを担う人材の養成、活用の充実
- ・若者をはじめとした成人のスポーツ参加機会の拡充

日本のスポーツ実施の現状

成人の週1回以上運動・スポーツを行う割合の推移



成人の週1回以上運動・スポーツを行う者の割合の推移
(出典: 体力・スポーツに関する世論調査(平成24年まで)及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」(平成27年度)に基づく文部科学省推計)

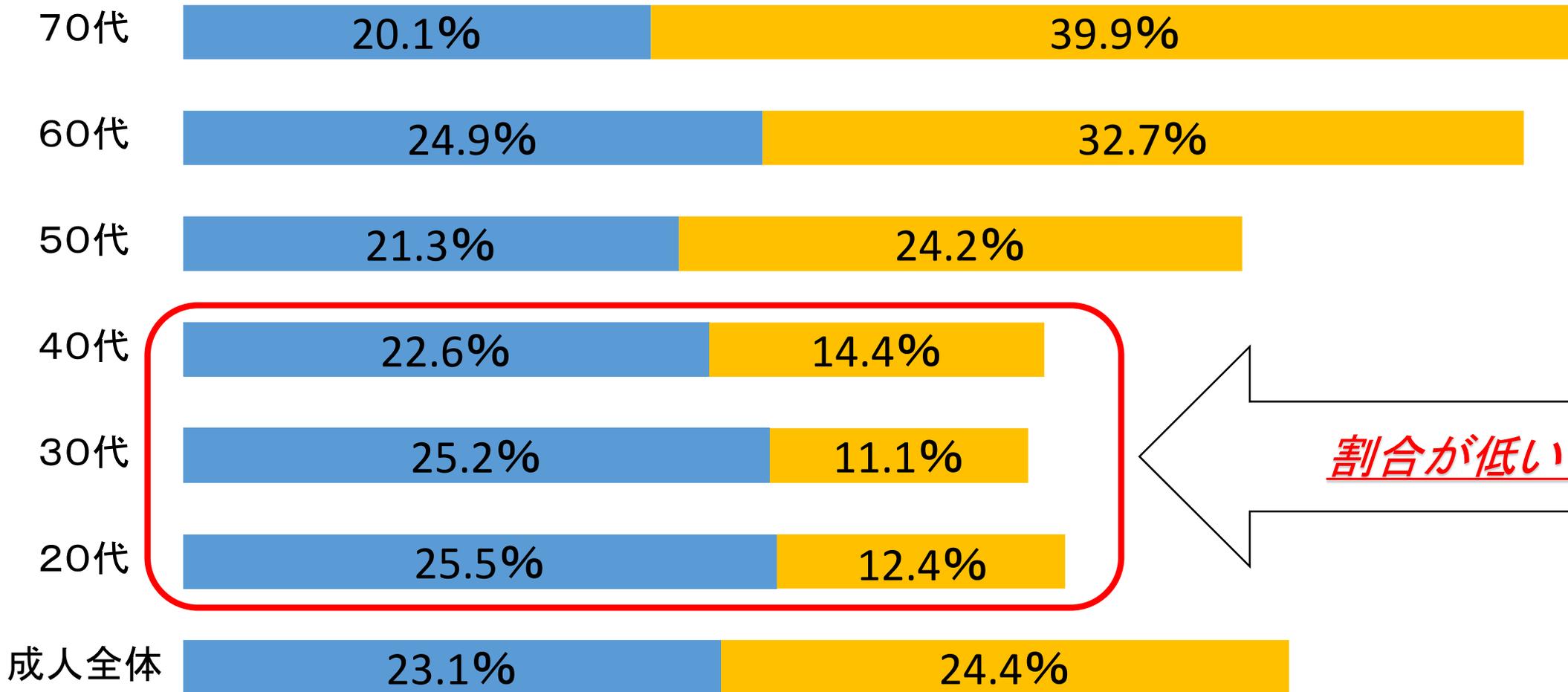
日本のスポーツ実施の現状

- 目標の65%に満たない
- 上昇傾向にあったが、27年に減少
- 何かを改善しないと実施率は上がらない！！

年代別 運動実施日数

■ 週に1~2回以上

■ 週に3回以上

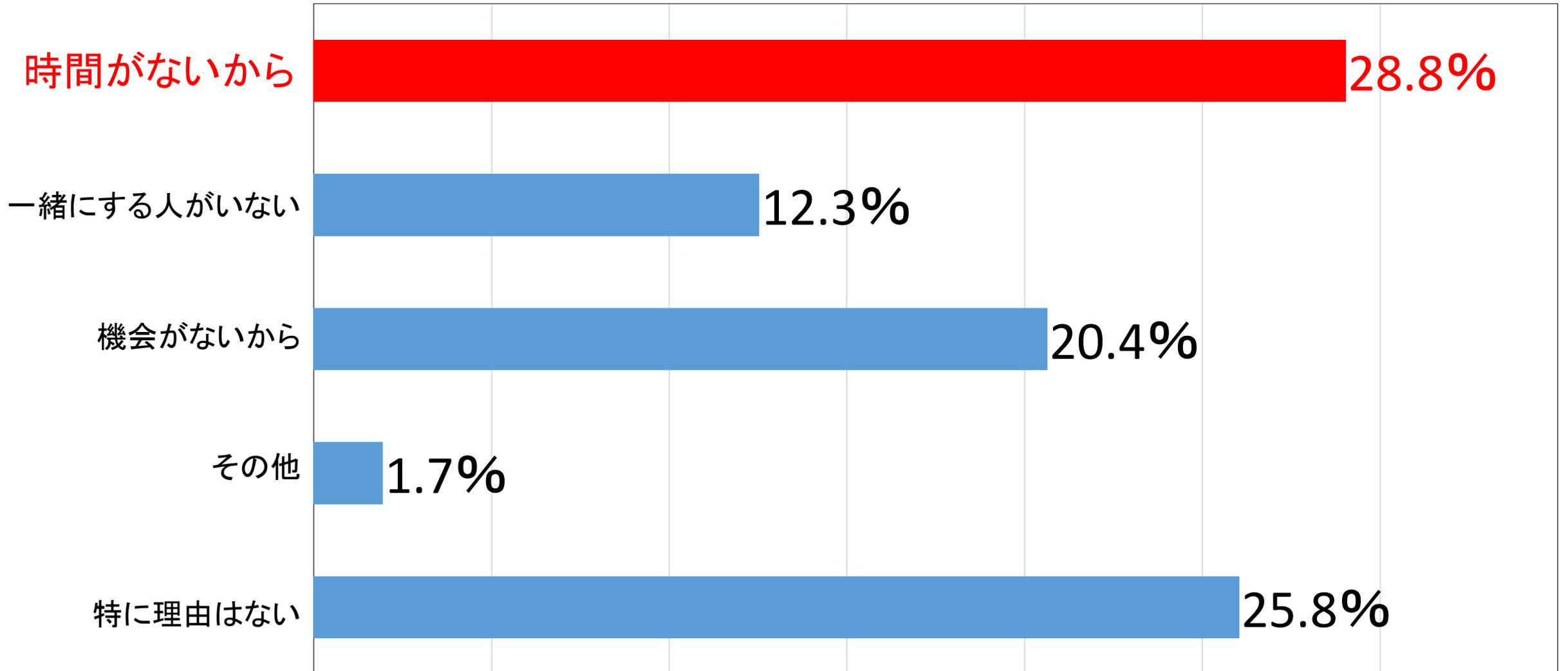


割合が低い!

出典 日本生命「週1日以上運動している20歳代は4割にも満たない!？」を修正作成)

なぜ社会人はスポーツをしないのか？

社会人のスポーツをしない理由

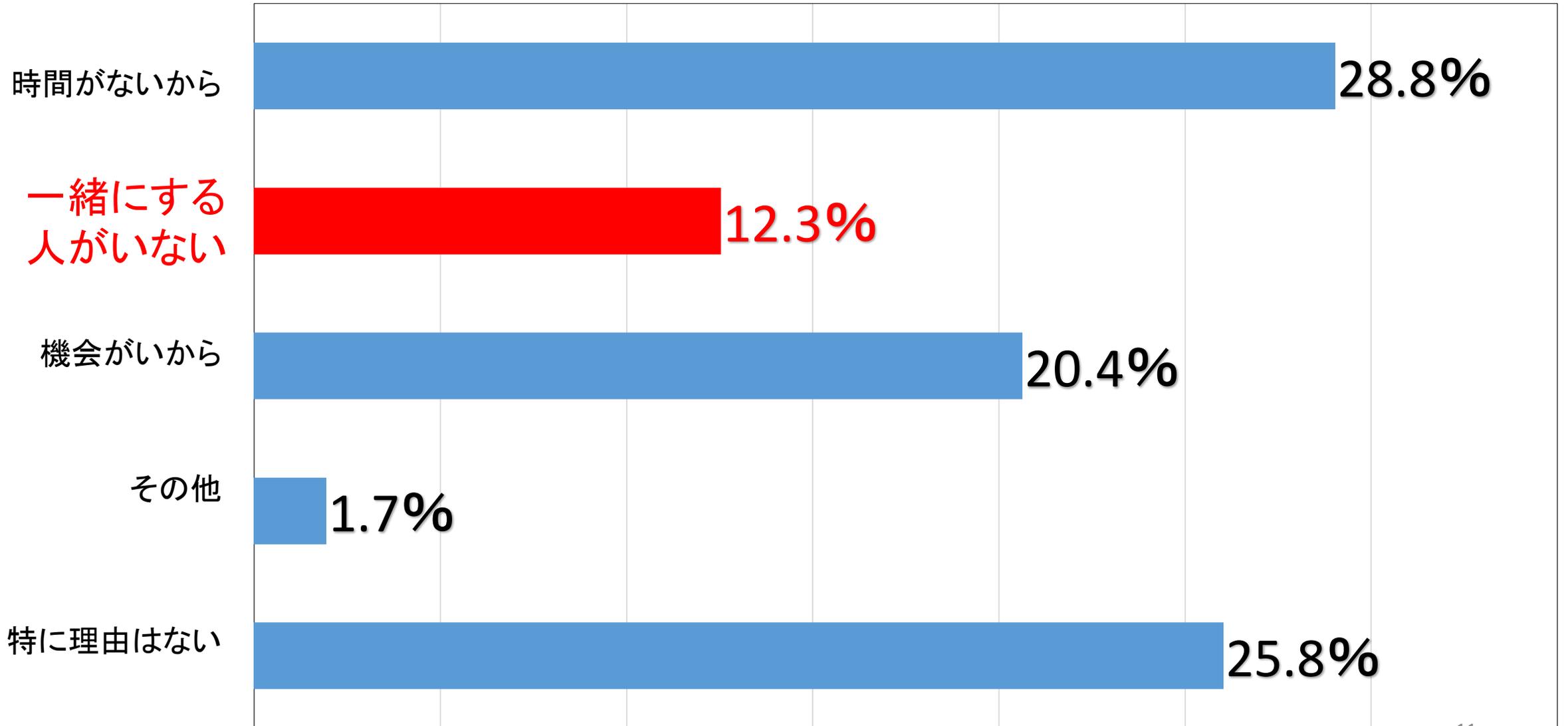


理由① 時間がないから

- 仕事が忙しくて時間が取れない！
- 長距離通勤だから自由時間が少ない！
- 帰宅後、お風呂に入ったら寝る時間！



社会人のスポーツをしない理由



理由②一緒にする人がいない

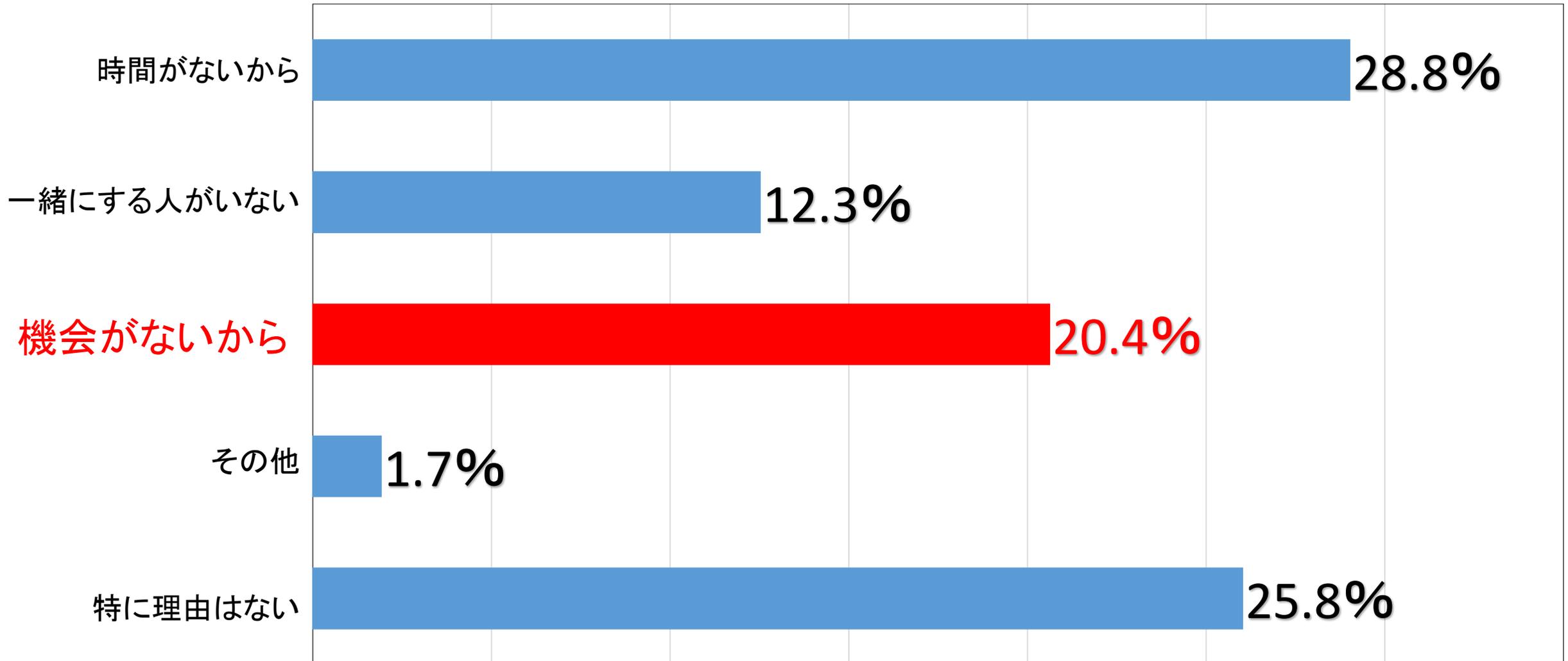


社内では

約2人に1人がコミュニケーションを

十分に取れていると感じていない

社会人のスポーツをしない理由



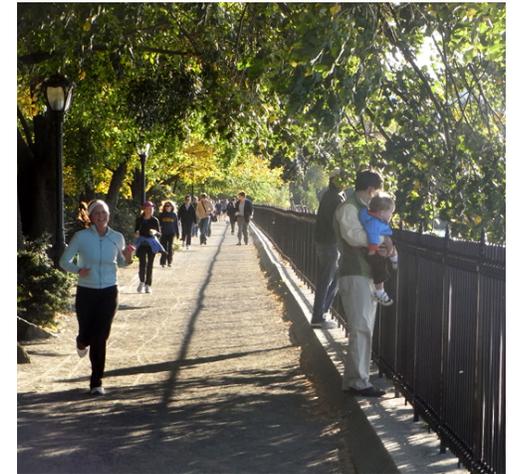
働いている人に注目しました！

仕事ができる人になりたければ運動せよ！



◎アメリカの統計では
高所得の人間ほど毎日運動している

◎日本でも年収700万以上の
高所得層は運動習慣有りの割合が多い



提案します！

オフィス・スポーツ・スペース(OSS)を！

OSSとは・・・

- オフィス
- スポーツ
- スペースのことであり、

会社でスポーツができる

空間を創るプロジェクトである



OSSプロジェクトの3大施策

施策1. 仕事場のフィットネス化

施策2. 巡回型プログラムの展開

施策3. 社内活動の活性化

OSSプロジェクトの3大施策

施策1. 仕事場のフィットネス化

① オフィス内をアスリートの写真で埋め尽くす



② オフィスの椅子は撤去！



③ 多目的スタジオの設置



施策1 仕事場のフィットネス化

① オフィス内をアスリートの写真で埋め尽くす！

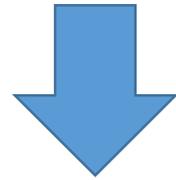


施策1 仕事場のフィットネス化

②オフィスの椅子は撤去！

集中力が高まる

社員同士のコミュニケーションが密になる



会議時間の半減、問題解決スピードアップ



施策1 職場のフィットネス化

③多目的スタジオの設置！

ヨガ エアロビクス ストレッチ

やりたい！ ときに すぐ出来る！



OSSプロジェクトの3大施策

施策2. 巡回型プログラムの展開

スポーツをしている人としていない人の
自由時間の差はほぼない！！

本当の理由は??

スポーツするのって、それまでが面倒くさい！！
少し疲れる！！

OSSプロジェクトの3大施策

施策2. 巡回型プログラムの展開

場所	社内のスタジオ
時間	お昼休み
情報	社内のネット掲示板、チラシ
指導者	派遣される
料金	福利厚生より無料

例) スタジオ事業費(支出)の積算根拠

項目	金額	摘要
諸謝金	150000	3000円×1人×50回
借損料	100000	スタジオ使用料2000円×50回
消耗品	4000	ボール200円×20個
印刷製本費	50000	50円×1000枚
会議費	2700	150円×6回×3人(お茶)
その他	20000	保険
計	326700	

施策3. 社内サークルを活性化させるサービス提供

面倒な試合の調整はしない

試合後も楽しめる

試合後はみんなで乾杯

- ・対戦相手のマッチング
- ・自チームの出欠管理
- ・会場を確保
- ・メンバーへの連絡

- ・試合を取材
- ・試合結果や写真、記事を掲示板にアップ
- ・年間記録の集計



事例① ヨーロッパのクラブハウス

スポーツクラブ + BAR



施設名	会員数	設立年	施設規模	交流の場
BCクラブ	1700	1866年	大規模	バーラウンジ
OAクラブ	993	1964年	中規模	バーラウンジ
C-Lセンター	-	1993年	大規模	バーラウンジ
ASクラブ	500	2001年	中規模	バーラウンジ

表1 イギリスの総合型地域スポーツクラブの特性

事例② 社内バー



- 社員同士での利用はもちろん、社外にも自慢できるスペース
- メディアで会社を取り上げられた
- 人が集い、コミュニケーションが生まれる場となっている
- 社員の方々が**自律的にコミュニティを創ることに繋がっている**

OSSを設置・運営することによって、 会社にもメリット！

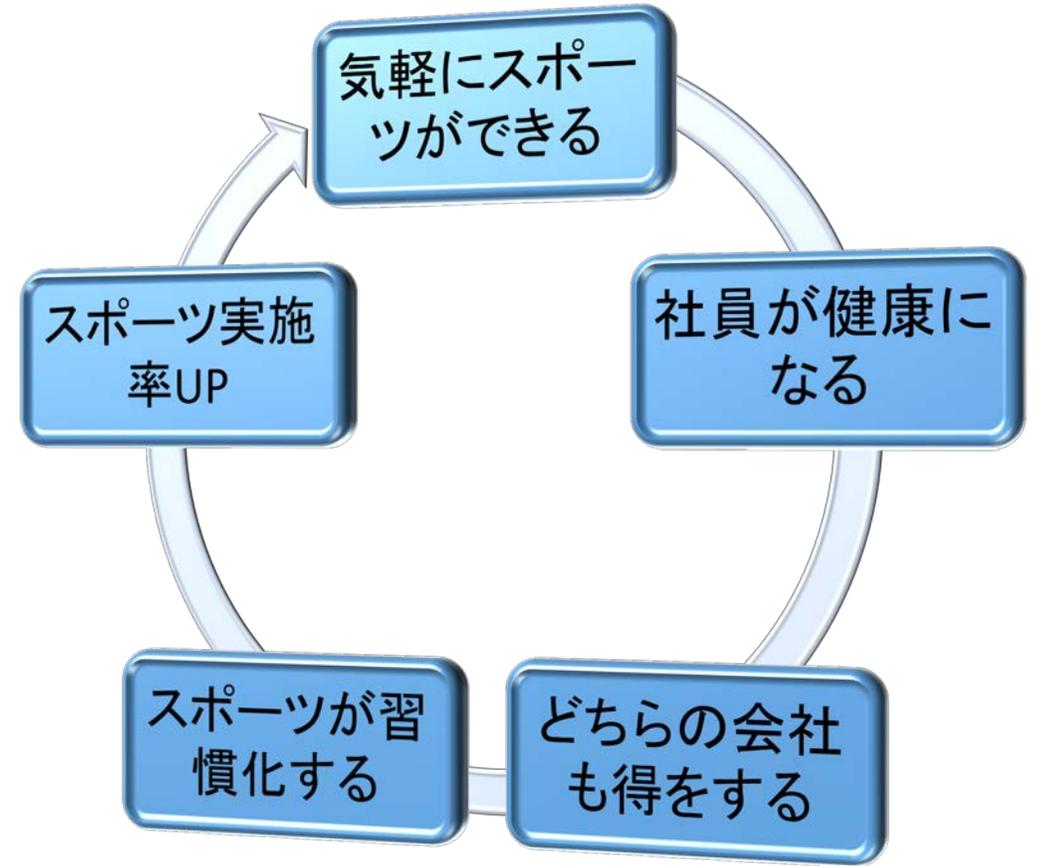


まとめ

- 現状ではスポーツ実施率が低い年代は主に20-50代(社会人)である
- スポーツをしない理由は時間がない
→面倒くさい
- スポーツに対するハードルを下げる
- OSSプロジェクトの3大施策
(仕事場のフィットネス化・巡回型プログラムの展開・社内サークルの活性化)
- 社内バーの設置
- コミュニケーション機会の増大、社内の活性化、健康増進、認知度アップ

運動する人が増える！

実施率65%に近づく！！

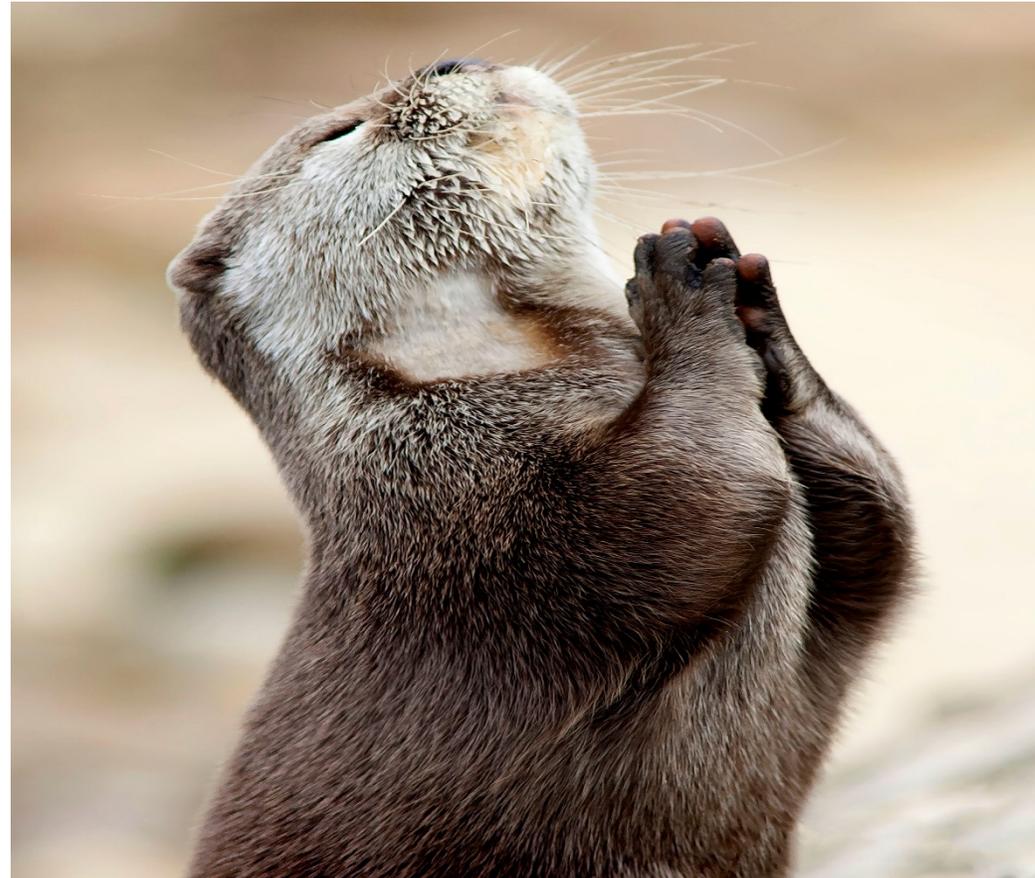


参考文献

- 文部科学省HP
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/08/attach/1283327.htm)
- グッド・アクション2015 (<http://next.rikunabi.com/goodaction2015/>)
- 体力・スポーツに関する世論調査(平成24年まで)及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」(平成27年度)に基づく文部科学省推計)
- 日本生命「週1日以上運動している20歳代は4割にも満たない!？」を修正作成)

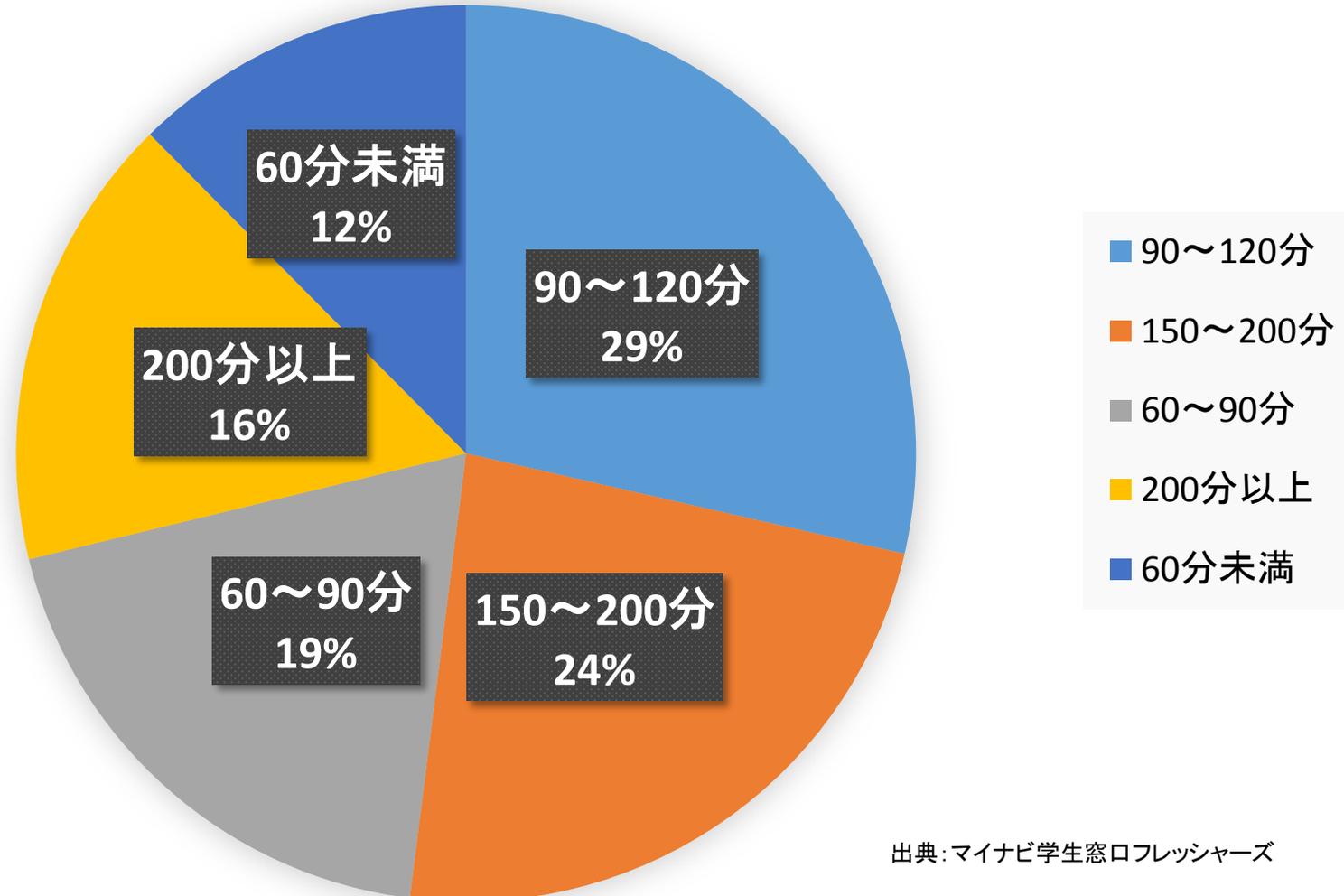
※資料の最終閲覧日 2016年10月5日

ご清聴ありがとうございました。

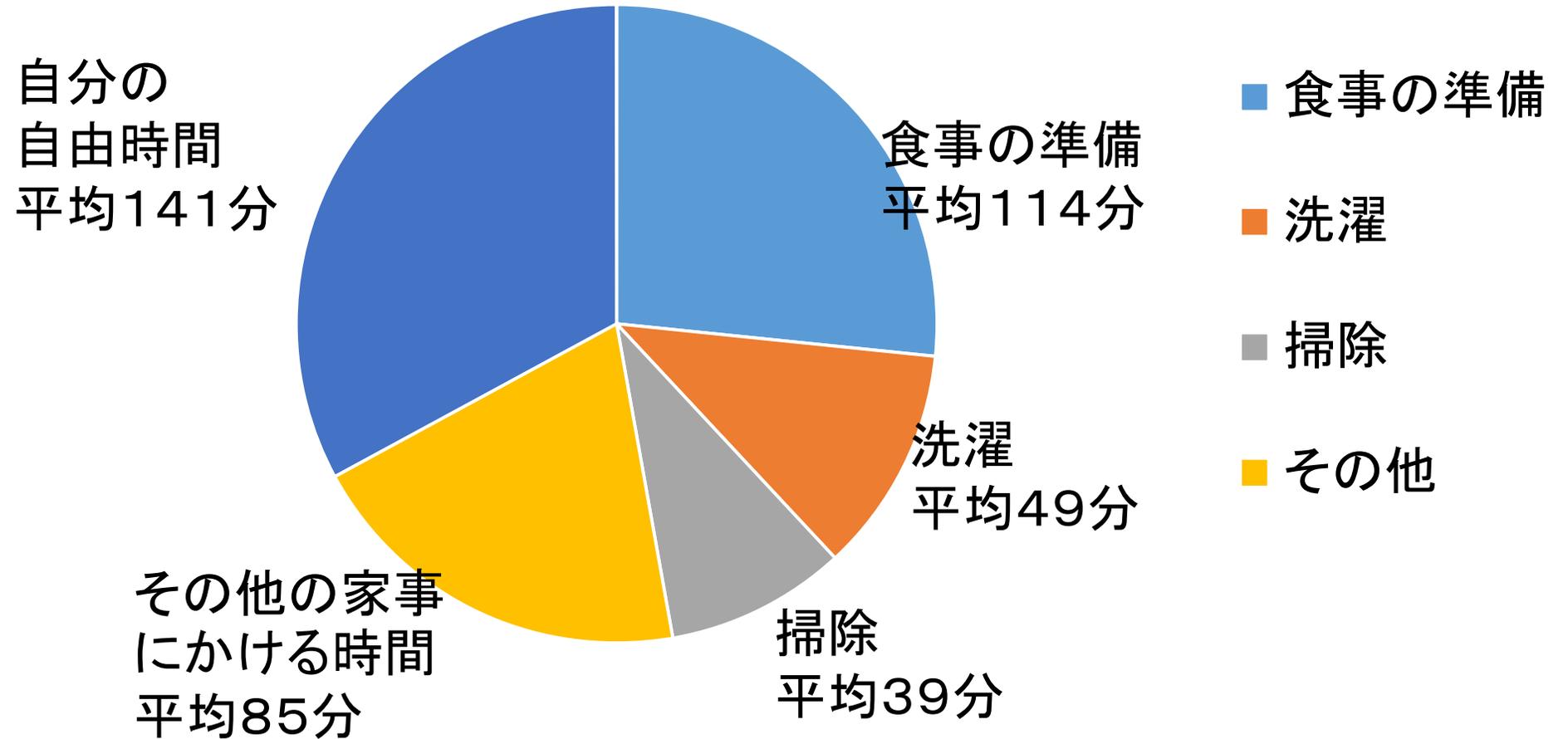


理由①

サラリーマンの1日のうち平日の
自由な時間は何分？（睡眠や食事の時間は除く）



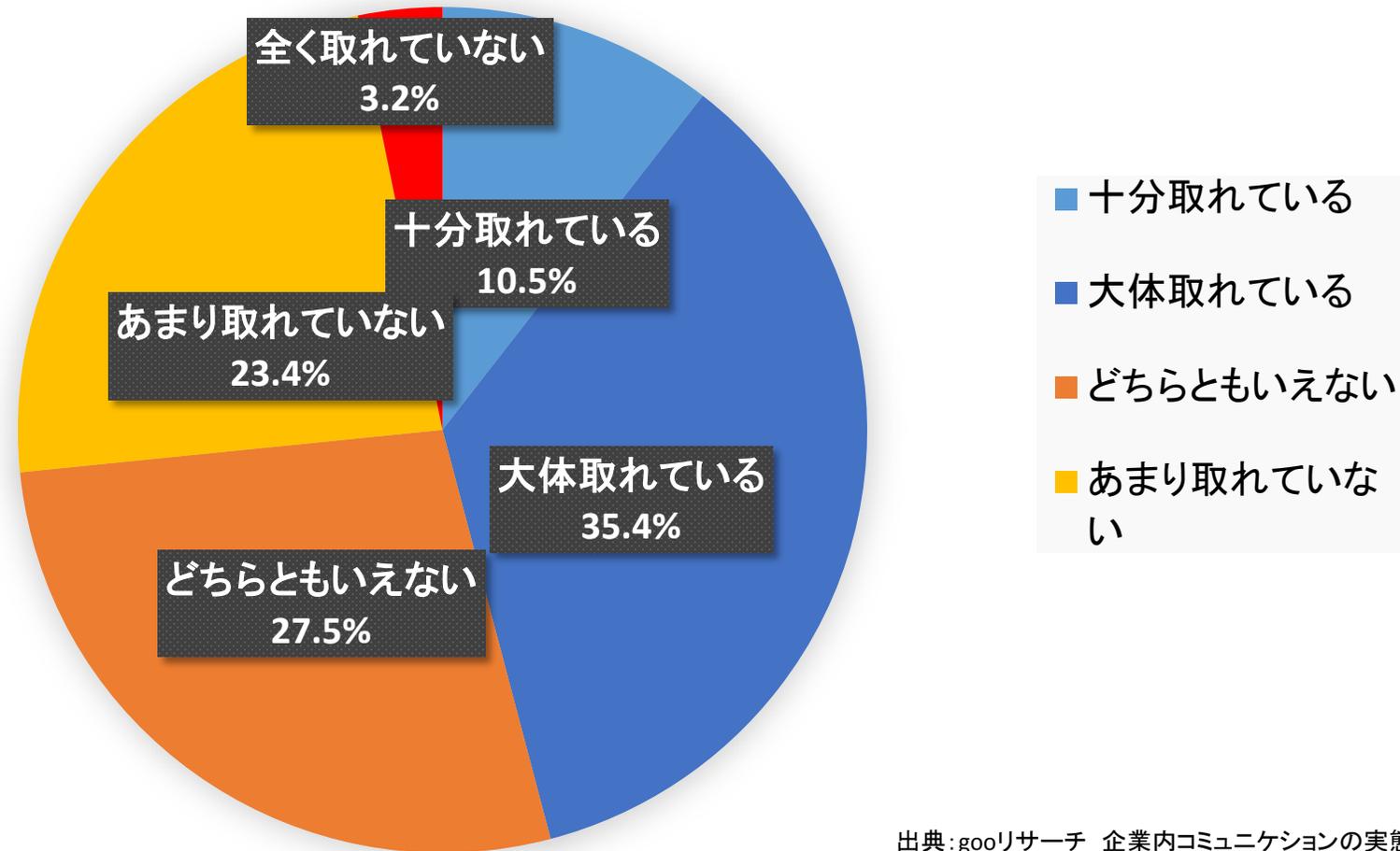
主婦の一日の自由時間



(マイナビニュース参照)

理由②

社内でのコミュニケーションの実施状況



理由③

機会がないから＝きっかけがあれば行動する！？

あなたが興味のある運動やスポーツのクラブ、同好会などがあれば加入したいと思いますか？

